

ホットニュース Hot News

◎医療情報をもっと身近に!

中央図書館の中央入り口正面にある「医療・暮らし」のコーナーでは、医療関係者向けの専門的な本から、分かりやすい一般向けの本まで幅広く並んでいます。

その一角にあるのが「がんと暮らす情報コーナー」。肺がんや乳がんなど、「がん」をわかりやすく説明したパンフレットを無料配布しています。国立がん研究センターHPでも、同じものが公開されており、PDFおよび音声データもダウンロードできます。もし、自分や家族など身近な人ががんと診断され

た場合、誰に何を相談したらいいのか、病気についてどうやって調べればいいのか、分からないことがばかりで不安になるかと思えます。そんな時はこのコーナーに立ち寄ってみませんか？確かでわかりやすいがんの情報を、身近な図書館で手に入れることができます。ぜひ、手に取ってご活用ください。



オススメの本



こびとの世界
 Mozuミニチュア作品集
 Mozu/著 玄光社

ミニチュアとは思えないほど、精巧な作りに、大人でも夢中になってしまいます。小さな世界をご覧ください。



たまごのはなし
 しおたにまみこ/著 ブロンズ新社

主人公の「たまご」があいぼうのマシムロと探検に出かけ、何が起こるかはお楽しみ…。

History Inquiry Club **真の233**
歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
 吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
 渥美郷土資料館 ☎33-1127

博物館HP 博物館インスタグラム

田原市で初！
国登録有形文化財 井筒楼・角上楼本館

2022(令和4)年2月、福江町にある井筒楼と角上楼本館が、本市で初めて国の登録有形文化財となりました。国から登録を証する登録プレートの伝達が行われたことから、今号では両施設をご紹介します。

井筒楼は、福江がかつて港町として栄えていた頃に料理旅館として建てられました。一番古い建物は、玄関向かって東側の一角で1868(明治元)年、主たる外観を構成する西側部分が1912(大正元)年、1946(昭和21)年には南側部分の客室と出島と呼ばれる棟が増築され、ほぼ現在の形となりました。



▲井筒楼(当時の名称では井筒萬楼)1935年「渥美郡勢総覧」より

角上楼本館は、こちらも福江が港町として栄えていた昭和初期に料理旅館として建てられています。建物

は、中庭を囲んでコの字型になる2階建の部分と、この2階と廊下で繋がった南側の崖の上に建つ平屋の部分からなっています。北側の正面から見る建物は、総2階で高さもあり、2階部分が全面ガラス戸で高欄が付き、雄大な近代和風建物の外観を見せています。



▲現在の角上楼本館(北側正面より)

今回登録された両施設は、時代とともに増築や部分的な改修をくり返してはいるものの、その外観は建築当時の姿がほぼ変わらずに残されており、福江地区の当時の様子を伝える歴史的建築物となっています。



▲登録プレートの伝達(角上楼にて)

(学芸員 天野敏規)